

経友会 ニュース

第27号

ご質問・お問合せ・メールのご登録は
大阪市立大学 経友会
(大阪市立大学 経済学部同窓会)
keiyukai07@sakai.zaq.ne.jp
http://keiyukai.info

2014(平成26)年9月25日発行

第18回 経友会総会から

平成26年6月14日(土)、午前11時から杉本町キャンパス学術情報総合文化センターの文化交流室で総会を開催しました。この総会では平成25年度の事業報告と会計決算をはじめ第4期のキャリア形成ゼミの計画、経友会講座に代わる商経講座の開設とその第1回講座の計画が承認され、また、平成26年度の事業計画、同会計予算等も承認されました。会議終了後に平成20年の小林 寛美さん(北京オリンピック シンクロナイズドスイミング選手)に次ぐ2人目の経友会賞が川口 加奈さんに贈られました。

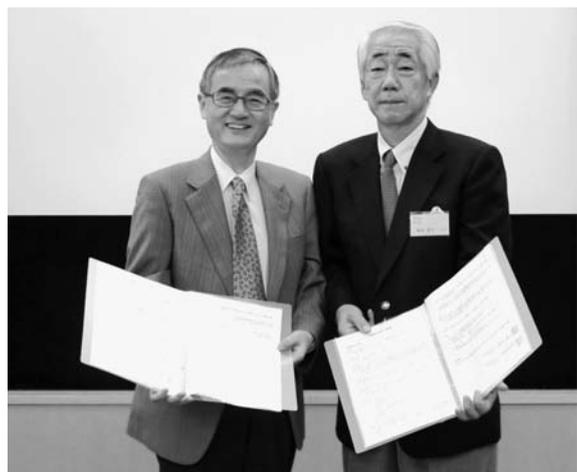


塚本会長

今秋から商経講座開講

経友会・商友会が共催

経友会総会の議事終了後に、当会の塚本喜左衛門会長と商友会 岡本直之会長との間で「商経講座開講に関する協定書」調印が行われ、今秋から相互に協力して商経講座を開設することを約しました。協定書の内容骨子は下記のとおりです。



協定書を交わす塚本 経友会会長、岡本 商友会会長

(講座開設の目的と内容)

産業経済界で活躍している本学の卒業生や引退された卒業生を講師として、講師の所属する(所属した)企業・事業所の業務や、経営の概況、さらにその業界や日本の産業経済の動向、世界の状況等に関する知見を学生たちに提供する。

(講座の開講と開設の時期等)

講座は平成26年度から毎年開講し、1年ごとにその所管学部を交代する。初年度は経済学部の所管とする。また、講座は半期の講座とし、試験等を含めて全15回開設するものとし、13人の講師がそれぞれ1回90分の講義を行う。

(講座運営委員会等)

講座の円滑な運営を期するために、経友会・商友会はそれぞれ若干名の講座運営委員を任命し、運営委員会を設けて担当教員の指揮のもとに協力して企画・運営に必要な事務を処理する。

(経費の支弁)

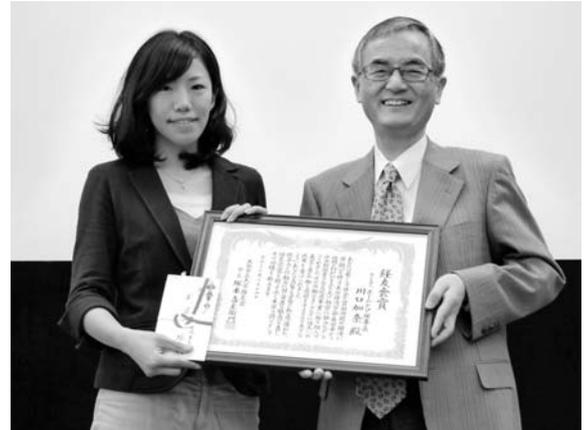
経友会・商友会は、それぞれ講座開設に要する経費の2分の1を負担する。

川口 加奈さんに経友会賞

卒業後もNPO法人代表として活動

2月に経友会賞選考委員会を開いて経済学部4回生（今春3月卒業）の川口 加奈さんに経友会賞を贈ることを決め、6月の総会で贈呈することとなりました。

川口さんは、中学時代から大阪あいりん地区（釜ヶ崎）のホームレス問題に関わり始め、2010年、大学生を中心にHomedoor（ホームドア、2011年NPO法人となる）を立ち上げて大阪市の2つの問題—ホームレスの問題と放置自転車の問題—を同時に解決する事業に取り組んできました。若くして社会的弱者の自立を支援する困難な事業に取り組み、その活動は新聞・テレビ等マスコミにたびたび取り上げられて全国的に大きな反響を呼び、企業・団体等多方面から大きな協力を得て支援の輪を広げてられました。



塚本会長から経友会賞贈呈

このことは、本学学生のみならず多くの若者に信念を持って夢や課題に挑戦することについて大きな刺激を与えると共に、伝統ある本学の名をより広く知らしめることとなりました。NPO法人を率いていろいろな課題に挑戦し、大きな成果を挙げているこの人の実行力と統率力は敬服に値するものがあります。

わが国社会の貧困問題の解決を夢として本学経済学部に入學し、勉学に励む一方でこの活動に情熱を傾けたこの人の真摯な姿と業績に対して、経友会はこれを称えて最高の賞を贈呈しました。

ホームドアの主な取り組み

- 就労支援事業 1. HUB chari ホームレスの人たちの持つ自転車修理の特技をいかして、市内各所に拠点を設けシェアサイクル事業を行う。2. 使い捨てのビニール傘を修理してリサイクル販売を行う。3. 中間的就労研究所を開設して自立支援のあり方を研究
- 生活支援事業 生保受給等により社会的に孤立し勤労意欲や自尊心を失った人たちに生活支援から就労支援までのプログラムを提供して自立を促進する。
- 啓発活動 1. あいりん地区とその周辺を「釜案内人」と共に歩き、この町の可能性を歩きながら学ぶ。2. 釜MEETS 炊き出しへの参加やワークショップ等のプロジェクトを実施する。3. 講演・ワークショップ 年間80本以上の講演やワークショップを実施する。

主な受賞歴

- 2011年 大学生オブザイヤー初代グランプリ
- 2012年 なにわ大賞特別賞。第8回キャンパスベンチャーグランプリ「経産省大臣賞」。
日経ウーマンオブザイヤー 2013の若手リーダー部門に選出。ビジネスプランコンペ edge2012最終優秀賞。世界経済フォーラム（ダボス会議）に選出。



ゼミの恩師 福原先生と並んで

川口さんは受賞後、「Homedoorの活動について」と題し、謝辞とともに活動報告をされた。活動の場である釜ヶ崎の現況と日雇い労働者やホームレスの人たちの生活実態などについて、活動の中から生まれる彼らとの心の交流のエピソードを交えて紹介された。またHomedoorが取り組むHUB chariをはじめとする社会復帰への中間的就労支援事業などについてパワーポイントを用いて短い時間内で要領よく、熱い気持ちをこめて語られたのが印象的だった。年輩の者にはこの事業に取り組む若い女性を放ってはいられない、支援したいという気持ちが湧き上がるのを覚えた次第である。

彼女は終わりにこれからもこの事業を継続していくために皆様のご支援をいただきたいと結んで、会場からは大きな拍手が贈られた。

平成25年度会計決算、26年度会計予算案を承認

この総会で、経友会の平成25年度事業報告と同会計決算が報告され承認されました。また、平成26年度の事業計画とその予算、並びに今年度から始まる商経講座予算についても承認されました。

1. 平成25年度の主な事業

- (1) 総会の開催
 - ・平成25年6月15日(土) 学術情報総合センター文化交流室で開催。役員任期満了に伴い改選を行う。
 - ・総会終了後、商友会と共催して記念講演会開催。
- (2) 第9期経友会講座とキャリア形成ゼミの開講支援
 - ・経友会講座 平成25年10月～26年1月 全13講座開講
 - ・キャリア形成ゼミ 平成25年4月～同7月 開講
- (3) 経友会賞授賞決定
 - ・平成26年2月、経友会賞選考委員会開催。平成26年3月卒業の経済学部4回生 川口加奈さん(NPO法人Homedoor 理事長)に経友会賞授賞決定。6月総会で贈呈式を行う。
- (4) 経友会ニュースの発行
 - ・平成25年9月、26年3月 それぞれ1,500部発行、会員送付のほか残部を本学学生支援センター窓口、大阪市駅前第2ビル文化交流センター談話室に置く。

2. 平成25年度一般会計決算(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

■ 収入の部

(円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (B - A)	前年度決算額
前期繰越金	4,634,425	4,634,425	0	5,346,226
会費収入	1,000,000	754,150	-245,850	889,840
雑収入(寄付等)	50,000	70,000	20,000	122,220
受取利息等	1,000	1,362	362	1,343
当年度分収入合計	1,051,000	825,512	-225,488	1,013,403
収入の部合計	5,685,425	5,459,937	-225,488	6,359,629

■ 支出の部

(円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (A - B)	前年度決算額
通信費	410,000	345,437	64,563	481,545
印刷費	325,000	242,545	82,455	319,075
消耗品費	22,000	17,661	4,339	17,166
広報企画費	15,000	12,108	2,892	13,700
人件費	270,000	270,000	0	270,000
会議費	17,000	10,430	6,570	18,191
協賛・助成費	50,000	50,000	0	50,000
講師等謝礼金	0	10,000	-10,000	0
懇親会費	20,000	0	20,000	0
雑費	10,000	2,835	7,165	2,835
予備費	10,000	0	10,000	0
小計	1,149,000	961,016	187,984	1,172,512
特別会計繰出金	513,000	384,249	128,751	552,692
支出の部小計	1,662,000	1,345,265	316,735	1,725,204
単年度収支差額	-611,000	-519,753	-91,247	-711,801
次期繰越金	4,023,425	4,114,672	-91,247	4,634,425
支出の部合計	5,685,425	5,459,937	225,488	6,359,629

次期繰越金 4,114,672円の内訳

☆定期貯金(郵便局) 3,000,000円

☆普通郵便貯金 1,020,111円

☆活動資金残高(94,561円)

(活動資金残高の内訳 郵便貯金 92,538円、銀行預金 454円、手持ち現金 1,569円)

3. 平成25年度 経友会一般会計費目別支出明細書

(円)

予 算 額	支 出 額	内 訳
通 信 費 410,000	3,360 125,329 107,548 109,200 345,437	退任役員への礼状、役員へ資料送付等事務連絡郵便代 ニュース第25号宅配便代（封入手数料込み） ニュース第26号宅配便代（封入手数料込み） 第18回総会案内用 往復はがき1,050枚
印 刷 費 325,000	2,420 119,175 20,050 86,100 14,800 242,545	常任幹事会会議資料等コピー代 経友会ニュース第25号・ペラ印刷代 角2封筒印刷代 経友会ニュース第26号1,500部 印刷代 角2封筒枚印刷代
消 耗 品 費 22,000	17,661 17,661	プリンターインク、宛名ラベル、総会議案書用紙等購入代
広 報 企 画 費 15,000	1,100 11,008 12,108	経友会HPドメイン使用料 経友会HPサーバー使用料
人 件 費 270,000	270,000 270,000	事務局長活動費 @3万円 9ヶ月分
会 議 費 17,000	4,000 6,430 10,430	常任幹事会 会議室使用料 常任幹事会、総会会議用ボトル茶
協 賛 ・ 助 成 金 50,000	50,000 50,000	経済学部卒業記念パーティに祝金
講 師 等 謝 礼 金 0	10,000 10,000	ホームカミングデー記念講演会 講師に謝礼
懇 親 会 費 20,000	0 0	
雑 費 10,000	2,835 2,835	経済学部へ年末挨拶 お菓子
予 備 費 10,000	0 0	
小 計 1,149,000	961,016	
特 別 会 計 繰 出 金 513,000	384,249	予算額 513,000円-支出額 384,249円 =残額 128,751円を一般会計に戻し入れ
合 計 1,662,000	1,345,265	

4. 平成25年度 経友会講座特別会計支出決算

(円)

科 目 (予算額)	支 出 額	内 訳
通 信 費 10,000	1,066	講師に経友会ニュース送付 @82、13人
消 耗 品 費 13,000	2,520	担当委員名刺作成代 @1,260、2名
交 通 費 ・ 宿 泊 費 64,000	20,010	講師、担当委員交通費
講 師 等 謝 礼 費 260,000	240,000	@2万円、12人(1人返上)
講 師 等 食 事 費 156,000	120,653	経友会講師と担当委員等食事会
雑 費 10,000	0	
合 計 513,000	384,249	予算額513,000円-支出額384,249円=残額128,751円は一般会計へ戻入れ

5. 平成26年度 経友会会計収支予算案

■ 収入の部

(円)

科 目	H26年度予算額(A)	前年度予算額 (B)	増減額 (A - B)	前年度決算額
前期繰越金	4,114,672	4,634,425	-519,753	4,634,425
会費収入	900,000	1,000,000	-100,000	754,150
雑収入(寄付等)	50,000	50,000	0	70,000
受取利息等	1,000	1,000	0	1,362
当年度収入計	951,000	1,051,000	-100,000	825,512
収入の部合計	5,065,672	5,685,425	-619,753	5,459,937

■ 支出の部

(円)

科 目	H26年度予算額(A)	前年度予算額 (B)	増減額 (A - B)	前年度決算額
通信費	395,000	410,000	-15,000	345,437
印刷費	305,000	325,000	-20,000	242,545
消耗品費	18,000	22,000	-4,000	17,661
広報企画費	15,000	15,000	0	12,108
人件費	270,000	270,000	0	270,000
会議費	12,000	17,000	-5,000	10,430
協賛・助成費	255,000	50,000	205,000	50,000
負担金	284,000	0	284,000	0
講師等謝礼金	0	0	0	10,000
懇親会費	20,000	20,000	0	0
雑費	10,000	10,000	0	2,835
予備費	10,000	10,000	0	0
支出の部小計	1,594,000	1,149,000	445,000	961,016
特別会計繰出金	0	513,000	-513,000	384,249
支出の部合計	1,594,000	1,662,000	-68,000	1,345,265
単年度収支差額	-643,000	-611,000	-32,000	-519,753
次期繰越金	3,471,672	4,023,425	-551,753	4,114,672
支出の部合計	5,065,672	5,685,425	-619,753	5,459,937

(注) ①協賛・助成金には経友会賞副賞を含む。②負担金は全額商経講座運営負担金。

6. 平成26年度 商経講座会計収支予算案

■ 収入の部

(円)

費 目	収入額	内 訳
商友会負担金	284,000	
経友会負担金	284,000	
合計	568,000	

■ 支出の部

(円)

費 目	支出額	内 訳
通信費 10,000	7,000	講師に資料送付代 @500×13通
	3,000	その他事務連絡通信費
	10,000	
消耗品費 15,000	5,000	講座担当委員名刺作成代 @1,300×4
	10,000	ビデオ録画テープ、材料費ほか
	15,000	
交通費 117,000	117,000	講師旅費 千葉市2人、東京1人、相模原市1人、生駒市1人
	117,000	
講師等謝礼費 260,000	260,000	講師謝礼 @20,000円×13人
	260,000	
講師等食事費 156,000	156,000	講座終了後、講師・担当教授・担当委員夕食代 @12,000×13回分
	156,000	
雑費 10,000	10,000	
	10,000	
合計	568,000	

平成26年春 経済学部卒業生の進路



サンデー毎日と共同で大学卒業生就職状況について全国の大学にアンケート調査を行い、その結果を同誌7月27日号で公表した。回答があった全国の国立、公立、私立大学558校の就職状況を集計したもので、それによると本年の大学卒業生の実就職率〔就職者数/(卒業生数-大学院進学者数)×100〕の平均は81.7%で前年より2.3ポイント上昇したとのことである。また、卒業生数1,000人以上の大学の実就職率ランキングによるとわが大阪市立大学は33位（大学院修了者を含む。）ちなみに公立大学のトップは兵庫県立大学で18位、大阪府立大学は44位（大学院修了者を含む。）となっている。

わが経済学部卒業生の本年の就職状況は下記のとおりです。卒業生 1部213名、2部15名 計228名（内3名進学）
* 下表は経済学部提供資料を基に作成しました。

企業別就職先一覧

業種	企業名	人数	業種	企業名	人数	業種	企業名	人数	
一般企業	愛知時計電機(株)	1	一般企業	日本GE(株)	1	金融・証券	ユーシーカード(株)	1	
	アイテック阪急阪神(株)	1		パナソニックホームエンジニアリング(株)	2		(株)ジェーシービー	1	
	味の素(株)	1		日立オートモティブシステムズ(株)	1		日本生命保険相互会社	3	
	因幡電機産業(株)	3		富士通テン(株)	1		(株)損害保険ジャパン	1	
	医療法人協和会	1		フルタニ産業(株)	1		明治安田生命保険相互会社	1	
	岩谷産業(株)	1		ホーチキ(株)	2		大同生命保険(株)	1	
	花王(株)	1		三井不動産リアルティ(株)	1		アメリカンファミリー生命保険会社	1	
	(株)アスコット	1		三菱商事(株)	1		住友生命保険相互会社	1	
	(株)いけうち	1		三菱電機(株)	1		鉄道・運輸	ヤマト運輸(株)	1
	(株)伊藤園	1		三菱レジデンス(株)	1		新関西空港(株)	1	
	(株)エネゲート	1		明和産業(株)	1		阪神電気鉄道(株)	1	
	(株)大塚商会	1		山佐(株)	1		京阪電気鉄道(株)	2	
	(株)大林組	1		山田ビジネスコンサルティング(株)	1		教育	近畿大学	1
	(株)オービーシステム	1		大和歯車製作(株)	1		京都大学	1	
	(株)オービック	3		ヤマハ(株)	1		神戸大学	1	
	(株)キャットアイ	1		ユニバーサルコンピューター(株)	1		進学塾 ONESELF	1	
	(株)きんでん	2		ライズ(株)	1		地方公務員	貝塚市	1
	(株)経営情報センター	1		(株)リクルートスタッフィング	1		大阪府警察本部	1	
	(株)神戸製綱所	1		(株)リンカイ	1		大阪府教育委員会	1	
	(株)小松製作所	1		(株)類設計室	1		羽咋市	1	
	(株)ジェイテクト	2		DICグラフィックス(株)	1		大和郡山市	1	
	(株)システムリサーチ	1		SCSK(株)	1		奈良県	1	
	(株)神鋼環境ソリューション	1		(株)Going	1		高知県	1	
	(株)新日本海新聞社	1		(株)LIXIL	2		東京都	1	
	(株)セブンイレブン・ジャパン	1		グリーンホスピタルサプライ(株)	1		泉大津市	1	
	(株)高橋書店	1		(株)Net Value	1		京田辺市	1	
	(株)デンロコーポレーション	1		(株)STUDIO ARC	1		滋賀県	1	
	(株)トランス	1		(株)TKC	2		京都府	1	
	(株)ナックスナカムラ	1		西日本建設業保証(株)	2		大阪府	2	
	(株)ニトリ	1		金融・証券	あかつき証券(株)		1	警視庁	1
(株)野村総合研究所	1	大阪シティ信用金庫	1	国家公務員	大阪国税局	2			
(株)阪急阪神ビジネスアソシエイト	1	大阪信用金庫	1	神戸地方検察庁	1				
(株)阪南ビジネスマシン	1	姫路信用金庫	1	国立病院機構近畿ブロック事務所	1				
(株)日立システムズ	1	岡三証券(株)	1	国税庁	1				
(株)日立物流	1	(株)百十四銀行	1	兵庫労働局	1				
(株)ファイナンシャルブレインシステムズ	1	(株)あおぞら銀行	1	防衛省	1				
関西電力(株)	5	(株)池田泉州銀行	1	近畿公安調査局	1				
関西熱化学(株)	1	(株)鹿児島銀行	1	近畿財務局	2				
監査法人 トーマツ	2	(株)紀陽銀行	3	大阪航空局	1				
キャノン(株)	1	(株)京都銀行	3	近畿管区警察庁	1				
キリックスリース(株)	1	(株)近畿大阪銀行	1	国土交通省	1				
銀泉(株)	1	(株)大正銀行	1	その他団体	兵庫県保険医協会	1			
サミー(株)	1	(株)中国銀行	1	(財団)高知県産業振興センター	1				
サンセイ(株)	1	(株)徳島銀行	1	(財団)大阪府公園協会	1				
杉浦製粉(株)	1	(株)南都銀行	2	大阪商工会議所	1				
スミセイ情報システム(株)	1	(株)みずほフィナンシャルグループ	1	奈良県信用保証協会	1				
住友金属鉱山(株)	2	(株)三井住友銀行	4	NPO法人Homedoor	1				
総合警備保障(株)	1	(株)三菱東京UFJ銀行	2	不 明	勤務先不明	2			
ソフトバンク(株)	1	(株)ゆうちょ銀行	1	進 学	和歌山大学大学院	1			
大黒天物産(株)	1	(株)りそなホールディングス	4	京都大学大学院	1				
高田機工(株)	1	近畿労働金庫	1	学校法人電波学園	1				
東京センチュリーリース(株)	1	信金中央金庫	1	就 活 中	公務員を目指す者	9			
東洋ゴム工業(株)	1	東海東京証券(株)	1	教員を目指す者	1				
特定医療法人神戸健康共和国	1	東洋証券(株)	1	企業に就職を目指す者	1				
巴工業(株)	1	野村證券(株)	1	公認会計士を目指す者	1				
トヨタ自動車(株)	2	みずほ証券(株)	1	無 職	病気・入院中	2			
ナカザワ建販(株)	1	三井住友信託銀行(株)	1	不 明	—	10			
日本車輛製造(株)	1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	1	合 計	計	228			

— シリーズ 経済学部の先生紹介 —

このシリーズでは先生方から自己紹介の形でご自身の研究テーマや講座などについてご寄稿いただいています。今回は財政政策論を講義されている松本 淳 准教授にご登場願いました。先生の熱心な授業と飾り気のない明るい人柄とがあいまって学生たちに慕われているようで、毎年卒業式後に開かれる記念パーティを企画する実行委員会では学生たちを指導され、その企画や準備を彼らと一緒に和やかな雰囲気の中で汗を流されています。



松本 淳 准教授

研究について

私の専門は財政学です。出身校の慶應義塾大学および大学院では、大島通義先生と飯野靖四先生のもとで財政学の基礎を学びました。そして、大学院生時代に、東京大学での財政学研究会（通称、ネットワーク2000研究会）において、神野直彦先生と金子勝先生からご教示いただいたことは、私にとってとても大きな財産になっています。とくに神野先生からは財政学を経済学の一領域としてではなく、市場経済の論理だけでは解決しない現在の課題に対して、総合科学としての財政学というツールを用いることの重要性を学びました。私の現在の問題関心である社会保障についても、長い間、近視眼的な、そしてパッチワーク的な対策がとられてきました。とくに少子高齢化の急速な進展の下、社会保障財政は急速に悪化の一途をたどってきています。しかし、それに対しては「社会保障財政の健全化」という名のもとで、数値（収支）合わせの対応がとられ続けてきたものの社会保障財政は一向に健全化しないばかりか、社会保障制度自体から抜け落ちる人々が急激に増えてしまいました。典型例は生活保護受給者の急増です。このような矛盾に満ちた問題に対して、単なる財政の収支尻合わせではなく、さらに「財政は誰を救いたいのか？」を問い続ける研究を行っていきたいと考えています。

教育について

学生への教育はとても大事だと考えています。市大には、他大学の学生と比較して、とても素直で真面目な学生が揃っていると思います。しかし一方で、積極性は必ずしも高いとはいえません。これに対しては経済学部が重視する「少人数教育」がとても有意義であると考えています。しかし私の重視するのは「少人数」ではありません。最も重視するポイントは「学生一人一人と向き合うこと」です。これを実質的に行うためには、どうしても少人数のクラスになってしまう、というのが私の考え方です。今の学生は基本的には我々の世代と何ら変わりません。ただ、お互いに経てきた時代や経験が異なるだけです。そのギャップを丁寧に埋めていく作業がお互いの信頼関係を生み、お互いに良い効果が生まれると信じて、日々、教育を行っています。今の学生は自分の経てきた時代や経験が異なる人たちとのコミュニケーションが得意でない子が多いし、それを克服することは大きな意味をもっていると思います。その意味では、経友会の方々が多方面にわたって経済学部の学生に関わってくださることにたいへん感謝をしておりますし、われわれ教員も、もっと経友会の方々とコミュニケーションをとる努力をしなければならないと感じています。

第1回 商経講座

経友会は平成17年（2005）度から本学の卒業生を講師として経友会講座を開講し、本年で10年目を迎えます。昨年11月のホームカミングデーで商学部同窓会（商友会）と共同して記念講演会を開催して以降、両会はそれぞれが単独で開講してきた企画講座を共同で開催する方向で両学部を交えて協議を重ねてきました。

そして今秋から両会が共催する「商経講座」を隔年ごとに交互に主担して再出発することし、第1回目は経友会・経済学部が担当することとなりました。今年は田中記念館が改修工事に入るため、教室を法学部の大教室に移して開催します。

産業政策特殊講義1（商経講座）

担当 経済学部 福原 宏幸 教授

【実施期間】 平成26年10月2日(木)～平成27年1月29日(木)

【講義時間】 午後4時20分～午後5時50分

【会場】 法学部棟3階 730教室

【講義内容】

本学商学部・経済学部をはじめ他学部・大学院の卒業生を講師に招き、さまざまな分野で企業経営、日本・世界の経済、自治体行政などについて語っていただきます。激動の時代を生きたそれぞれの講師の生の声を通して、変貌する社会経済のなかで時代を先取りし、考え抜かれた知恵や果たされた苦勞を知ることができると思います。

日程	内容(テーマ)	講師(敬称略)
10月2日	イントロダクション	福原 宏幸 大阪市立大学経済学研究科 教授
10月9日	グローバル新時代に求められる人材とリーダーシップ	近藤 浩章 (S58経) パナソニック(株)人材開発カンパニー・ マーケティング研修総括
10月16日	為替が解ると世界が、そして日本が見える ～歴史的円高から導かれたアベノミクス円安への道筋を紐解けば～	花井 健 (S52商) 新日鉄興和不動産(株) 顧問、 前楽天(株) 取締役常務執行役員 元(株)みずほコーポレート銀行 常務執行役員アジア・中国総代表
10月23日	グローバル経済における総合商社の経営のリーダーシップ ～ビジネスモデルの転換と期待される人材～	梶原 謙治 (S46商) 住友商事(株) 顧問、 元専務執行役員・中国総代表
10月30日	財務分析から見る日本の企業評価(企業評価のポイント)	戸奈 常光 (S38商・S40経営院) 戸奈公認会計事務所 代表
11月13日	金融分野の情報システム化の歴史の変遷	足立 伸男 (S52商) 第一生命情報システム(株) 常勤監査役
11月20日	経営戦略を中心とした戦略的思考法	深尾愛二郎 (S44経) (元)(株)アルプス技研 代表取締役社長
11月27日	繊維産業とその用途、技術の広がりについて	西口 信行 (S48経) (元)旭化成せんい(株) 東京支社長 兼 マーケティンググループ長
12月4日	大阪都市部の開発－梅田の都市開発について－ 阪神西梅田開発・うめきた開発	中本 一志 (H11経) 阪急阪神ホールディングス(株) グループ経営企画室 事業政策部 兼 阪神電気鉄道株式会社 新規事業推進室
12月11日	タイヤ業界の現状と今後、そして勝ち残る為に	市原 貞男 (S55経) 東洋ゴム工業(株) 執行役員 経営企画本部長
12月18日	中国建築内装業の現状と人事管理制度のあり方	原田 利明 (S43商) 上海愛思考建築裝飾工程有限公司 顧問
1月8日	堺市産業の特徴とその振興施策について	澤田 佳知 (S59法) 堺市市長公室企画部長
1月22日	大阪市の都市基盤行政	芝野 弘之 (S46工院) (元)大阪市建設局 副理事
1月29日	これからの企業のグローバル展開	岡野 幸義 (S39法) ダイキン工業(株) 特別顧問

(注) 講師および内容・日時は変更する場合があります。